

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画

策定委員会委員長 加川 充浩様

地域でくらす会 井上徹

山陰福祉の会 山中裕二

養 和 会 廣江仁

### 地域福祉計画の理念・骨子を検討する小委員会設置の提案

地域福祉計画の策定委員会に提案した「地域福祉計画の理念」を検討する時間が「策定委員会」で十分取れないのであれば、「地域福祉計画」についての理念や骨子を検討する有志による小委員会を設け、そこで集中的に検討し、まとまったものを策定委員会で提案し、討議してはどうかと思います。

平成30年10月10日

## 米子市地域福祉計画の理念(骨子案) 29年12月作成井上徹

- 1、住民のニーズに適い、縦割りでなく、財政的にも持続可能な、  
生活支援の仕組みを生活圏域ごとに作ることを目標とする。
- 2、上記1の実現には、市が地域福祉計画全体を適切に管理・運営  
する下記のような仕組みが必要
  - (1) 高齢・障がい・子ども・生活困窮等の複数分野を統括・調整  
する機能を市が持ち、市が本来行うべき公益的相談（地域包括支  
援センター・障がい者一般相談等）は民間委託でなく市直営で行う。
  - (2) 複数分野の支援＝「総合支援」が可能な人材を市が育成し、  
公益的相談（地域包括センター・障害者一般相談等）に従事させる。
  - (3) 市が福祉サービス全体を適切に調整できる機能を持つ。  
具体例＝必要に応じて介護・障がい福祉サービスの総量規制を行い、  
併せて重度者対応の充実を実施する方策を検討する。
- 3、行政・住民・支援事業者が協働できる仕組みを工夫する。
- 4、住民を育成・支援する仕組みを作り、住民が主体的に運営する  
地域の居場所作り（最低でも中学校区に1カ所）等に取り組む。
- 5、支える側の人間が不足・枯渇しない仕組みを検討する。
- 6、10年後のヴィジョン・到達目標を描く役割が必要